

政策 05 環境と調和したまちづくり

施策 02 地球にやさしい生活の推進

あるべき姿

施策がめざす尾張旭市の姿
市民・事業者・行政それぞれが、地球環境にやさしい生活・活動を行っています。

施策の成果状況と評価

グラフの凡例 基準値及び目標値、実績値

指標	地球環境にやさしい取り組みの平均実践項目数(全17項目中)(項目) 【環境課】	基準値	実績値	実績値	目標値	対基準値
		(H24)	(H29)	(H30)	(H30)	
		7.2	7.6	7.9	8	☀ (向上)
評価	前回調査より、0.3ポイント上昇し、H30の目標値をほぼ達成している。 環境学習関連事業の実施により、各家庭で環境にやさしい生活を行うことが、定着化しつつある。 節電やマイバックの使用を行っている市民は多い。	(項目) 				対前年度
						☀ (向上)
						目標達成度 (---)

基本事業の成果状況と評価

基本事業01 環境保全のための教育・学習・実践

グラフの凡例 基準値及び目標値、実績値

指標	環境を考えた行動をしている児童生徒の割合(%) 【教育行政課】	基準値	実績値	実績値	目標値	対基準値
		(H24)	(H29)	(H30)	(H30)	
		90.7	88.2	87.9	91	☔ (低下)
評価	前年度に比べ、実績値(H30)が0.3ポイント減少した。これは、小学3年生、6年生、中学2年生を対象にしたアンケートで、「だれもない部屋の電気や見ていないテレビを消すようにしていますか。」の設問に対し「消している」と答えた児童生徒が、平成29年度と比較し2.0ポイント減少したためであり、環境教育の成果が日常生活に活かされていないことが要因と考えられる。					対前年度

基本事業01 環境保全のための教育・学習・実践

指標	環境問題に関心を持って自ら学んでいる市民の割合(%) 【環境課】	基準値	実績値	実績値	目標値	対基準値
		(H24)	(H29)	(H30)	(H30)	
		12.4	30.1	29.2	15	☁ (横ばい)
評価	前回調査より0.9ポイント下降しているが目標値を上回っている。環境学習講座への参加者は前年度と同程度であり環境問題への関心は高まっていると思われる。					対前年度

基本事業02 省エネ・再生可能エネルギーの利用促進

指標	省エネルギー、再生可能エネルギー設備を導入している市民の割合(%) 【環境課】	基準値	実績値	実績値	目標値	対基準値
		(H24)	(H29)	(H30)	(H30)	
		19	59	58.1	25	☁ (横ばい)
評価	前回調査より0.9ポイント下降しているが目標値を大きく上回っている。省エネルギー性能の高い家電製品やエコカーの購入は、市民意識として一般化してきている。					対前年度

基本事業02 省エネ・再生可能エネルギーの利用促進

指標	再生可能エネルギーを活用している公共施設数(件) 【環境課】	基準値	実績値	実績値	目標値	対基準値
		(H24)	(H29)	(H30)	(H30)	
		6	15	15	10	☁ (横ばい)
評価	平成27年度に屋根貸し事業により、中学校2校、小学校3校、市役所及び文化会館に太陽光発電設備を設置し、グリーンニューデール事業により、消防本部に太陽光発電設備を設置したことにより後期目標値の15施設を達成している。					対前年度

基本事業03 総合的な環境行政の推進

グラフの凡例 基準値及び目標値、実績値

指標	市の施設における温室効果ガス排出量 (tCO ₂) 【環境課】	基準値 (H24)	実績値 (H29)	実績値 (H30)	目標値 (H30)	対基準値
			2,386.7	5,445	5,235	2,300
評価	温室効果ガス排出量は、前年度比 210tCO ₂ 、3.86ポイント減少している。 街路灯のLED化や文化会館の閉館などで、電気使用量が大きく削減されたことが影響している。					対前年度
		(比較不可)	目標達成度	(---)		

基本事業03 総合的な環境行政の推進

指標	環境保全を意識し、行動している市職員の割合 (%) 【環境課】	基準値 (H24)	実績値 (H29)	実績値 (H30)	目標値 (H30)	対基準値
			89.9	89.7	90.2	93
評価	前回調査と比較すると0.5ポイント上昇したが、前期目標値を下回った。職員的环境意識は向上している。					対前年度
		☀️ (向上)	目標達成度	(---)		